



# 口加だより

平成30年2月28日発行  
長崎県立口加高等学校  
第11号

## あやめが丘の窓から

### 2. 14

校長 下釜 祐保



数学を少しかじった者として、3. 14 という数の神秘に魅了されてきた。しかし、今年は、2. 14 もまた衝撃的であった。

2. 14。セントバレンタインデーの日の出来事である。女神さまから2つのプレゼントが届いた。

その第1は、この日吹いた春一番だ。この冬は、殊の外寒さが厳しかった。11月の後半から、ずっと寒波が居座りここ九州でも極寒の毎日だった。しかし、この日の春一番で一気に季節は動いた。この日を境にずいぶん凌ぎやすくなった。この時期、三寒四温などとの言葉もあるように、寒暖を繰り返しながら次第に季節が変わりゆくのが通常であるが、今年は少しその変容が違うようだ。

第2は、この日、文部科学省から高等学校の次期学習指導要領が告示されたことだ。話題となっている新学力観や学びの定義が改定され、戦後以来の大転換ともいう学者がいるほど、新しい教育体系への変革が発表された。同時に大学入試もまた大きく変化するという。まさに新しい教育の時代が始まるといっても過言ではないだろう。

ある日、ある境目の前後で季節や時代が大きく変わることがあることを、改めて、今年の2月14日は教えてくれた。

明日、卒業式を迎える若者たちの生活も同じかもしれない。自宅を出て都会で一人暮らすことになる者もいるだろう。専門分野の勉学や研究に飛び込むことはこれまでの普通科の学習とは大きな違いがあろう。ましてや、社会人として職に就くものは…。

「大きな変化」と書いて「大変(たいへん)」。大きな社会変化や環境の変化が起きると、人はみな「たいへん」という。しかし、時代の流れというもの、過去との不連続や体制の変化、価値観の激変などの繰り返しである。生きていくとはそういう瞬間を跨いでいくことと、言っているかもしれない。

進化論で有名なダーウインの「環境に順応する種だけが唯一生き残る」という名言があるが、時代に応じて逞しく、誠実に、そしてしなやかに生きていきたいものだ。

卒業生諸君の健勝を祈る。



### 学年だより

#### ～第1学年より～

リカちゃん

(1年1組副担任 宮川 律子)

私の叔父は、豪傑で有名だったらしい。下駄を履いて高校に通っていた、馬に乗って、甥(=私の兄)の足首を持ち逆さ吊りにして町内を駆けていた、毎日サンドバッグを叩いていた、子分が大勢いた等々。でも三歳だった私との約束は守れなかったという。「次はリカちゃん人形ば買ってくっけん。」と言ったのに。大学四年生の2月、バイク事故で急逝したから。

幼い私は、買ってもらえなかったリカちゃん人形を思った。中学生の頃は、親分肌の性格に憧れ、高校生頃は、喧嘩ばかりしていたのに国立大学に入った頭の良さに嫉妬した。叔父と同じ大学生になってやっと「こんな若い時だったのか」と思い、悼むという感情を持った。

そして、今。前途洋々たる人生を生きることができなかった叔父の無念さや、大学生の我が子を失った親(私の祖父母)の深い深い悲しみに思いが至る。度々よみがえる思い出は、自分を知る指標になる。

#### ～第2学年より～

(2年4組副担任 藤田 綾子)

2学年のスローガンの1つ「いい反応をする」、私はこれが大好きです。2年生諸君が「いい反応」をしてくれると嬉しくなります。卒業を迎える3年生も、気持ちのいい反応で私に接してくれていました。心が温くなる反応を諸君が瞬時に判断してくれて、その思いやりが嬉しいのです。これから先、多様な立場や考え方の人と社会で過ごす若い世代の諸君です。怒っている、不機嫌、いつも見下してくる、など、あなた方に対してマイナス感情で対応してくる人も必ずいます。そんなとき、深呼吸して「いい反応」を頑張ってみてください。周りの人は、きちんと見てくれています。あなた方の味方になってくれます。そして、自分の感情を我慢できず不機嫌を振りまく人のほうが注意され批難されるようになります。・・私自身が、諸君に対して「いい反応」ができていますか?大人として教師として、若者の前に立つにふさわしいか自問自答の日々です。こうした事を意識させてくれる学年で過ごせることをありがたく思っています。

#### ～第3学年より～

(3学年主任 山内 徹)

第70回卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。まずは君たちと出逢えたことに感謝します。3年間の高校生活は決して平坦な道ではなく、苦しくて辛くて、時には涙した日もあったことでしょう。しかし、その苦労こそが今の君たちを守る盾となって、逞しさと凛々しさを生み出しているのだと思います。

さて、4月からそれぞれの新天地に羽ばたく70回生へ。人生を謳歌する上では強さが必要です。困難な壁を乗り越える「粘り強さ」、失敗しても叩かれても立ち上がる「芯の強さ」、自説を押し通す「気の強さ」も必要になるでしょう。しかし、強さの根底に優しさがなければ、決して幸せになることはできません。これまでに支えて下さった方々から頂いた愛情を、次は君たちが周囲の方々に与える番です。高校生活3年間で培った力を存分に発揮し、これからの人生を自らの手で切り拓いていって下さい。いつまでも応援しています。顔晴れ!そしていってらっしゃい、Ambitious!70<sup>th</sup>

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。また、これまで物心両面にわたりご支援いただきありがとうございました。卒業生の今後益々のご活躍を学年団一同祈念しております。

### ♪今月のグローバルコース♪

1月31日(水)韓国よりシオン高校の生徒を迎えて、交流学習会を実施しました。日本文化を通じた交流を考え、今回は茶道を取り入れました。企画から生徒主体で実施し、当日の司会や、茶道の紹介などを全て英語でやり取りしました。以下は生徒感想になります。

「日本文化を外国人に教えるため、責任を感じながら準備を行った。」  
「あっという間の60分間だったが、15人全員が一生懸命、自分の仕事に取り組んだ結果、成功することができた。」「相手の国のことを調べたり、日本文化について調べたり、準備の大切さを改めて考えた。」



# 3年生! 卒業おめでとう!!



1組 内田政孝先生

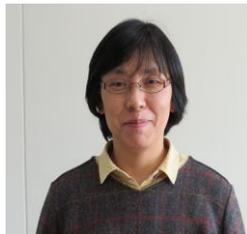
卒業おめでとうございます。1年間でしたが、毎日充実した日々を過ごすことができ、皆さんに感謝しています。ありがとうございました。いろいろと思いはありますが、語りだせばきりがありませんので最後に一言だけ。「ベストを尽くす！」  
いつでもどこにいても皆さんを応援しています。

卒業おめでとうございます。1年間という短い時間でしたが、皆さんと関わることができたことを幸せに思っています。4月から新しい道での生活がスタートします。願うのは一つ、みんなが「幸せ」に生きていくことだけです。自分の価値観や、周りの人を大切にしてください。「幸せ」のためには心身の健康が第一です。ちゃんと栄養と休養を取って元気に過ごして下さい。  
頑張れ。これからも応援しています。



2組 村岡拓治先生

卒業おめでとうございます。この一年は、みんなの寛容さや穏やかさ、明るさに支えられてきました。本当にありがとう。  
いよいよ新しい世界に一步を踏み出すみんな。ひとりの時間が長くなると、今までには出会ったことがないような自分と出会うかもしれません。頑張り屋さんの自分も、気弱な自分も、正義感に溢れる自分も、怠惰な自分も…。どんな自分に出会おうとも、すべてが「自分」です。自分自身を丸ごと受け止め、一日一日を積み重ねていきましょう。  
「焦らず、怠らず、あきらめず」 すべてうまくいきます。



3組 中村里香先生

この1年間は進路実現という大きな目標を掲げて休む暇もなく、学習に打ち込んできましたね。同時にクセがすごい担任のもとで、本当によく頑張りました。その頑張りに幾度となく救われました。ありがとう。さて、4月からは新天地で新しい生活が始まります。「社会は厳しい。」とよく言われますが、人生そんなに捨てたもんじゃありません。前向きに物事に取り組んでいれば、応援してくれる人が集まります。人が集まれば知恵と笑顔が溢れます。知恵と笑顔があれば、人生は豊かになります。苦しいときは、後ろを振り返ってみてください。君たちが歩んできた道があり、きっとそこには支えて下さった方々が手を振って応援しているはず。そしてまた、一歩ずつ踏み出して下さい。  
卒業、おめでとう。



4組 山内徹先生

## 卒業式のご案内

日時：平成30年3月1日（木）10時より  
（9時45分までにご入場ください。）

式場：本校体育館（駐車場は、第2グラウンドを準備しております。）

## ♪今月の生活創造コース♪

### ★家庭科技術検定 食物調理・和服・洋服 1級3種目取得「三冠王」誕生!

志方圭華さん



下田萌恵さん



松尾美咲さん



### 2月9日（金）民間講師招へい事業「乳幼児の食生活について」（2年）

講師 管理栄養士 馬場美智代先生

離乳食や幼児食、朝食の大切さなどについて学びました。また、生活リズムについても話していただきとても勉強になりました。

### 2月10日（土）口之津図書館お話し会ボランティア（2年）



### 職員ペンリレー

尾崎 淳一先生（保健体育科）

何か楽しいことを見つけましょう!!

～現代高等保健体育 3 社会生活と健康（9. 健康的な職業生活）～

卒業式を明日に控え、3年生のみなさん、心境はいかがですか。皆さんは、あと1ヶ月もすれば、また数年もすれば仕事に就いて働き始めます。コンピューターを駆使するデスクワーク、インターネット・携帯電話の普及により、社外勤務や在宅勤務、営業時間の延長、業務の国際化で、交代・夜間勤務など、近年は勤務形態が多様化しています。

卒業生や保護者の皆さん、働きながら「心とからだの健康づくり」に気を掛けながら毎日の生活を健康的に送って欲しいと思います。

仕事をしながらストレスをためないように、たまに息抜きが必要です。音楽を聴いたり、運動をしたり、食事をしたり、旅行にいったりなどです。私の趣味は陸上競技です、と言いたいところですが、本当は釣りが趣味です。加津佐町から船に揺られ、船長と話をしながら、タイやアラカブ、アコウなどの根魚を釣ります。のんびりとしたなかで、リラックスされ、また明日も頑張ろうという気持ちになります。趣味には時間とお金も必要になってきますが、皆さん自分にあったストレス解消法を見つけて、心とからだのバランスをとりましょう。